

府中市 PFASに関する水質調査 9月補正で計上 災害時活用井戸も対象に

伊藤久雄（NPO法人まちぽっとスタッフ）

補正理由

市域における環境モニタリングの強化の一環及び災害時における生活用水としての井戸水利用を鑑み、市内の井戸水等において、PFASに関する水質調査を行うもの。

補正予算額は、4,066千円

市議会各会派等への説明

- ・環境モニタリングの強化—昨年度に引き続き、市所有の井戸（9箇所）と新たに湧水（3か所）の調査
- ・市内の井戸水等—防災協力井戸37か所を予定、ただし希望者のみ

府中かんきょう市民の会の要望が実現

6月に府中かんきょう市民の会として、①昨年度に続く調査の実施、②農業用井戸についても希望者に実施、③市内の湧水について実施、等を市長に要望した。それら要望が今回の補正予算で実現することになった。

千葉県 市町村の「PFAS」対策 調査など経費の一部補助へ

NHK 千葉 NEWS WEB 8月29日

有機フッ素化合物の「PFAS」のうち、有害性が指摘されている物質が千葉県内で相次いで検出されている問題で、県は市町村が地下水の調査などを行う場合に、経費の一部を補助する方針を決めました。

有機フッ素化合物の「PFAS」のうち、「PFOS」と「PFOA」の2つの物質は有害性が指摘され、国内でも製造や輸入が禁止されていますが、千葉県では柏市や鎌ヶ谷市などで、水路や周辺の井戸から国の暫定目標値を上回る濃度が相次いで検出されています。

こうした状況を受けて県は、県内の市町村が行う対策などに対し、経費の一部を補助する方針を決めました。

対象となるのは、地下水の水質調査や、活性炭を利用して井戸水からPFASを除去する設備の設置などで、県はあわせておよそ1000万円の費用を補正予算案に盛り込み、来月開会する県議会に提出することとしています。

これについて千葉県の熊谷知事は、２９日の記者会見で、「地下水は飲み水となる可能性があるので速やかに対応する必要がある。県の補助によって汚染源の解明が進むことを期待するとともに、市町村と連携して不安の解消に努めたい」と述べました。